

## 教育委員会 6 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和7年 6月 4日(水) 午後3時から午後4時10分まで
  
- 2 場 所 教育委員会室
  
- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一  
同職務代理者 近 藤 守  
委 員 田 中 亜希子
  
- 4 説明のために会議に出席した者  
教 育 次 長 前 島 卓  
教 育 次 長 唐 木 英 俊  
教育次長副任兼  
総 務 課 長 北 原 孝  
学校教育課長 佐久間 清 也  
保健給食課長 山 口 恭 司  
家庭・地域学びの課長 藤 原 慶 治  
主 幹 兼  
総務課長補佐 穂 川 さゆり
  
- 5 書 記 総 務 課  
庶務担当係長 児 島 真 季

丸山教育長が開会を宣した。

#### <教育長あいさつ>

委員の皆様には、先月17日に開催された第56回長野市PTA連合会定期総会、30日に本市で開催した令和7年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会に参加していただき、感謝申し上げます。

同総会及び研修会長野大会では、1都10県の市町村の教育委員会から約1,000人を超える教育委員、教育長をお迎えし、研修会では、「次期学習指導要領に向けた検討について」と題し、文部科学省初等中等教育局教育課程課の課長 武藤様の講話をお聴きした。次期学習指導要領に関する国の考え方を、まさに作成の中心でいらっしゃる方から、直接伺えたことは、参加いただいた教育委員の皆様にとって大変貴重な機会になったと思う。また、講演会では、長野市出身で、現在、宇宙航空研究開発機構JAXAに所属されている澤田様に、はやぶさ2による小惑星リュウグウのサンプル採取に係る経験、2026年に打ち上げを目指して、現在携わっている世界初の火星衛星からのサンプル採取計画MMXについてお話をしていただいた。小・中・高・大学それぞれの学生時代に恩師に出会い、科学の魅力に目覚め、現在の仕事につながっているというお話から、子どもたちの興味の目は日々の教育活動、日常の体験の中にあることを改めて感じたところである。子どもたちにできるだけ多くの体験をさせてあげるために、教育委員会としても引き続き力を尽くしてまいりたい。長時間にわたる総会及び研修会であったが、参加した皆様には最後まで大変熱心に聴講いただき、長野大会を無事終えることができ安堵している。事前準備から大会当日の運営にあたった皆様には心から感謝申し上げます。

5月は様々な大会等があり、8、9日には関東地区都市教育長協議会、14～16日には全国都市教育長協議会川越大会に参加してきた。また、小学校では31日土曜日をピークに運動会が開催された。午前中は天気が心配であったが、雨が降らずによかった。

今月12日からは令和7年度6月市議会定例会が始まる。すでに議員の皆様から何件か質問の予告をいただいているので、しっかりと取り組んでまいりたい。

#### <協議事項>

協議1号「県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

唐木教育次長が説明した。

丸山教育長

内容については例年と同様か。

唐木教育次長

今年は人事異動方針について中身が変わってきているが、覚書自体の変更はない。

丸山教育長

了解事項の4についてはどうなっているか。

委員 進んでいる県もあるが進んでいない県もある。長野県は進んでいないのではないかと思う。

丸山教育長

都市教育長協議会などで教育長の皆さんと話をするとうるさくなる。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議2号「令和8年度長野市立長野中学校入学者選抜要項（案）について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

佐久間学校教育課長が説明した。

○県と異なる部分は3点。

- ・入学志願資格 中学校は長野市内に居住する者（県立の中学校は県内）
- ・入学審査料 現金（県立は収入証紙）
- ・入学者の選抜の方法 適性検査100点、作文50点（県立は適性検査1が100点、適性検査2が100点）

○県と同様に昨年度から修正した部分は3点。

- ・従前の報告書の「G 出欠の記録」について、出欠が判定に影響があると思われるため削除
- ・従前の報告書は「H 総合所見及び指導上参考となる諸事項」であったが、学校外の活動も含めて児童の良い点や努力した点などをより記載しやすくするため、「G 総合所見及び特記事項」に変更
- ・報告書作成の手引きGのエ「学校内外の奉仕活動」を奉仕活動に限定しないため、奉仕という文言を削除

その他各種様式については変更なし。

丸山教育長

公表はいつになるか。

佐久間学校教育課長

定例会で承認されたら、ホームページにて公表となる。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議3号「長野市いじめ問題再調査委員会答申を踏まえた取組について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

唐木教育次長が説明した。

- ・いじめ対応フローチャートは、全体的なフローを示した青ガイドと初期対応部分をクローズアップした赤ガイドの2種類がある。青ガイドを各校に配布し、職員室等に掲示することで法に則った対応が適切に行われるよう依頼している。

委員 答申を踏まえ修正していただいておりますが、どういうところまでをいじめと認定するのが非常に難しい。子ども本位で考えるのは当然だが、本当に子ども本位なのか、親本位になってきていないか、というところもある。

唐木教育次長

様々なケースがあると思うが、法の規定に従っていじめの認定をしていく必要があると考えているので、まずは当該児童・生徒の気持ちに寄り添って対応してまいります。

委員 これからの時代、スマホを持っている子どもの率もどんどん高くなっていき、SNSの問題やLINEなどを介してのグループのいじめなど、分かりにくいいじめが増えてくるのではないかと思う。そういったいじめへの対策や、どうやったら事前に防いでいけるのかを考えていかなければならない。SNSの使い方など、何が良くて何が危険なのかも含め、その辺りの指導も必要になってくると思う。

唐木教育次長

「長野市いじめ防止等のための基本的な方針 改定(案)」の7ページ(3)イ(ウ)に

もあるように、以前はインターネットのみの記載であったが、SNSを追加した。新しいメディアのリテラシーをしっかりと子どもたちに身につけさせていくということで、おっしやるとおり未然防止にはやはり学習・教育が大事かと思うので、しっかりとやっていきたい。また、発見しづらいということもあるが、察知した際には法に則して素早く対応していきたい。

委員 SNSは陰で行うため、いじめのつもりではなく軽い気持ちでも、エスカレートした時には名誉棄損など深刻な状況になってしまうこともある。子どもたちには、何をしたらいけないのかというルールを学校側もきちんと伝えていく必要があると思う。

委員 おそらく学校や教育委員会側は、今最大にできることを一生懸命やろうとしてくださっていると思う。その問題は学校だけの問題ではなく、家庭あるいは社会でどう捉えているか、大きな視点から見ていかないとならない。子どものことから学校でというのではなく、全体で見えていくということを訴えていかないと難しい。今後の子どもたちの人間関係や成長していく関係づくりにどう影響していくのか、事例を積み重ねていく中で考えていかなければならない。

委員 学校のクラスの友達のグループだが、学校外でLINEをしているなどとなってくるとやはり学校だけの問題でなく、社会全体で考えていかなければならない問題だと思う。

丸山教育長

小・中学生のスマホの所有率を考えると、SNSやLINEの関係はこれから増えてくるだろうと思う。見つけづらいということもあるが、特にAIが入ってくると写真のコラージュなど様々なことができてしまうため、やはり情報モラル教育に、きちんと力を入れてやっていかなければならない。

委員 小児ポルノの問題もあり、写真を切り取って合成するなど誰でも簡単にできてしまう。また、帰宅中の子どもたちを動画で撮影しXにアップされてしまうなどの問題もあり保護者も心配しているところだと思う。

委員 学校の現状としてはどうか。

唐木教育次長

発達段階に応じて、PTAと一緒にSNSの活用についての勉強会を行う学校も増えてきている。新しいメディアが出てきたら改善し、とにかく毎年繰り返して行っていかなければならないと感じている。

委員 PTA、学校と保護者で一緒に考えていくというのが今の段階ではベストなのかと思う。

丸山教育長

いじめ問題対策連絡協議会やいじめ問題調査・解決チームの専門家の皆様のご意見を踏まえてここまできたところである。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議4号「長野市学校給食センター等運営審議会委員の任命（委嘱）について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

山口保健給食課長が説明した。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議 5 号「長野市立公民館条例施行規則の一部改正について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

藤原家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・長野市では、スポーツ施設、勤労者福祉施設において長野市施設案内予約システム「まちかぎりモート」を昨年6月から導入、運用を開始している。公民館、交流センターにおいてもこのシステムを導入し、来年4月の使用分から運用を開始する予定。
- ・「システム導入に伴い想定される懸念について」の②について、現在、対象月の前月初日の営業日に受付を開始しており、営業日初日は、団体登録されている皆様にお並びいただいている状況である。今後、受付の期間を1日だけとするのか、複数日設けるのかは検討中である。
- ・今回は公民館についてお願いするものであるが、交流センターについては、市長部局において同様の改正を行う予定で、5月16日の市長部局の法規審査委員会です承を得ているところである。

丸山教育長

利用申請は、対象月の前月初日の業務日とのことであったが、午前0時からか。

藤原家庭・地域学びの課長

今のところそのように考えているが、窓口の受付時間に合わせることもできる。申請、受付時間が違うことで、システムと紙ベースのどちらかが優劣ということにはならないと思う。

丸山教育長

システムで申請イコール使用許可にならないのか。

藤原家庭・地域学びの課長

許可にならない。他の団体と重複する部分も出てくるかと思うので、その辺りを抽選にするのか、連絡を取り合って調整していただくのかはこれから検討する。

丸山教育長

つまり、使用申請をしても許可しないと、予約済という表示にはならないのか。

藤原家庭・地域学びの課長

予約申請中という表示になる。

丸山教育長

予約申請中であっても重ねての申請はできるのか。

藤原家庭・地域学びの課長

できる。そうした場合は抽選となることもある。

丸山教育長

申請が重なれば抽選となるなど、利用者の皆様に予めしっかり周知しておかないと、申請中という表示で諦めてしまう方もいるかもしれない。

藤原家庭・地域学びの課長

これから利用団体の登録を行っていくので、その際にシステムの状況や、利用団体の方を集めての調整会議なども必要になってくるかと思う。たくさん予約が重なるほど使っていただけると嬉しいところである。

丸山教育長

いずれにしても、システムが導入されることで不都合を感じる方がいないようにお願いしたい。

委員 地域性をどうするのか。登録さえすれば、どこの地区の公民館でも利用ができるようになるので、今まで利用していた方が利用できなくなる可能性もある。そう

したところを含めて両者の理解を得ておかないと、公平となるのか。登録の要件をどうするのが難しいところである。

丸山教育長

システム上ではどの公民館でも使用できるということだが、地元の登録団体を優先するというのが基本ではないか。

藤原家庭・地域学びの課長

そのとおりだと思う。利用団体の登録についてはシビアに行っていきたい。

委員 何か所も登録する方が出てきてしまうのではないか。

藤原家庭・地域学びの課長

おっしゃるとおりで、説明の中で極力ご遠慮いただくようお願いしていく必要がある。

丸山教育長

簡単に電子申請ができることにより、申請したが当日来ないということも想定されるので、ペナルティを科すということも考えなければならない。予約が簡単にできるようになると様々な問題が出てくるので、導入前にしっかり詰め、検討しておいてほしい。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議 6 号「長野市立図書館協議会委員の任命について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

藤原家庭・地域学びの課長が説明した。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<一般行政報告>

報告 1 号「化学物質を取扱う学校が行う自律的な管理について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

山口保健給食課長が説明した。

- ・その他、職場における熱中症対策についても強化されてきている。引き続き教職員の労働衛生環境の改善についても、併せて取り組んでまいりたい。

委員 リスクアセスメント対象物とは、いわゆる理科などで使用する危険物という解釈でよいか。

山口保健給食課長

そのとおりである。ほぼ理科で使用するものであるが、一部、技術科で使うラッカーやシンナーなどの薬品も含まれるかと思うので確認していきたい。

委員 化学物質管理者と保護具着用管理責任者は 1 人ずつ、計 2 人になるのか。

山口保健給食課長

同一人を両方選任される場合もあるかと思う。

委員 学校規模でそうならざるを得ないところもあるかと思う。特に小学校ではたくさん出てくるのではないかと思うが大丈夫か。

山口保健給食課長

今現在、学校からの回答を見ると、保護具の着用が必要になる物質があるのは主に中学校だと思われる。

委員 硫酸や塩酸を使用した実験、アルコールなどはどうか。

山口保健給食課長

硫酸は保護具の着用が必要である。塩酸やエタノールについては必要ない。

委員 リンやマグネシウムはどうか。

山口保健給食課長

リンは保護具の着用が必要であるが、マグネシウムは必要ない。

丸山教育長

防毒マスクのようなものは必要か。

山口保健給食課長

一番は、主に上着、手袋、前掛け（エプロン）などである。

委員 ガスを吸い込む可能性もあるのではないか。

山口保健給食課長

その可能性はあるが、防毒マスクのように仰々しいものにはならないと思っている。リスクを低減するには濃度を下げる方法もあるが、理科の実験に支障が出てくると本末転倒であるので、その辺りを含め、どういう方法があるのか確認をしながら学校と共有していきたい。

丸山教育長

学校から問い合わせはきているのか。

山口保健給食課長

きているが、保護具についてはまだない。

丸山教育長

保護具はどこで調達するのか。

山口保健給食課長

おそらく事務局で調達するようになるのではないかとと思われる。また、保護具着用管理責任者には研修を受けていただく必要があるので、その費用についても場合によっては考えなければならない。

丸山教育長

いずれにしても、予算化しなければならない部分もあるだろう。

山口保健給食課長

どのくらいの予算が必要になるのかも含め、しっかり措置を考えていきたい。

委員 市町村で行うように言われているものか。

山口保健給食課長

国は、各事業所が行うよう示している。

委員 つまり各学校で行うということになるのか。当然、必要なことであると思うが、それに伴う費用や人のことを考えてつくっていかないと、働き方改革などを進めている中で矛盾が生じてくる。国によく考えてもらいたいところである。

丸山教育長

資料の冒頭に「化学物質を原因とする労働災害は年間450件程度」とあるが、これは学校以外の数も含まれているか。

山口保健給食課長

学校以外の数も含まれている。学校における事案はほとんどない。

報告2号「長野市青少年健全育成審議会委員の委嘱について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

藤原家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・市長の諮問に応じ、青少年の健全育成及び保護・育成に関する事項について調査・審議するため委嘱するもの

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北原教育次長副任兼総務課長）  
主催事業0件、共催事業0件、後援事業33件（賞状交付0件）

次回以降の日程確認（北原教育次長副任兼総務課長）

7月定例会	7月2日（水）午後1時	教育委員会室
		定例会終了後、総合教育会議を予定
8月定例会	8月6日（水）午後3時	教育委員会室

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員